

支え合うこと

4人に1人が65歳以上の高齢社会になった日本。家庭や介護施設などで高齢者の虐待が報告される中、私たちにはどのような対応が求められているのでしょうか。



高齢者虐待は暴力行為による身体的虐待だけではなく、暴言や無視といった心理的虐待、勝手に資産を使ってしまうなどの経済的虐待、十分な食事を与えない・入浴させないなどの介護放棄・放任も含まれます。要因はさまざまですが、介護者が介護や認知症について無理解・無関心であったり、介護負担の増加やストレスが重なりたりして虐待に至ってしまうことがあります。時には虐待の意識が無いまま虐待に及んでいるケースもあります。

なぜ起る
高齢者虐待は暴力行為による身体的虐待だけではなく、暴言や無視といった心理的虐待、勝手に資産を使ってしまうなどの経済的虐待、十分な食事を与えない・入浴させないなどの介護放棄・放任も含まれます。要因はさまざまですが、介護者が介護や認知症について無理解・無関心であったり、介護負担の増加やストレスが重なりたりして虐待に至ってしまうことがあります。時には虐待の意識が無いまま虐待に及んでいるケースもあります。

相談窓口

各相談窓口をご利用ください

| 相談先 | 連絡先 |
|------------|----------------|
| 地域包括支援センター | 介護高齢課内 ☎402287 |
| 人権相談 | 自治交流課内 ☎402211 |
| 民生委員 | 各地区民生委員さん |

核家族化が進み高齢者のみの世帯が増える中、最近では老々介護などで介護を一人で抱え込む傾向があります。身体的・精神的に追い詰められる前に介護サービス、相談窓口などを利用してください。介護を一人に任せきりにせず家族、親族みんなの問題であるという意識をもつことも大切です。高齢者の尊厳や命を守るために、近所で不安や悩みなどを抱えた高齢者の異変に気付いた場合は地域包括支援センターなど各相談窓口知らせてください。その一報が高齢者だけでなく介護者をも救うこととなります。

高齢者の人権侵害

なくすために



大 粒な赤いイチゴを見つけるとは「おいしいね」という声。ハウスの中にはイチゴ狩りを楽しむ人の笑顔があふれる。田畑きみ子さんは10年前にいちご園を始めるまで農業に携わったことはなかった。「素人にできるわけがない」。周りの反応は冷たかったが、やってみなければわからないと事業を始めた。2年目のシーズン。農業には慣れてきたが、どこか自信がなかった。そんな中イチゴが病気で全滅

した。「覚悟が足りなかった」。世話の仕方を一から見直し、手塩にかけて育てた結果、今では評判が評判を呼び、県外からも多くの人がイチゴ狩りに訪れる。苗から愛情を注いで作ったイチゴ。中には形が悪くなるものもあるが味は高級品。味見で食べてもらおうほか、ジャムなどにも加工している。「イチゴ狩りの魅力は、摘み取ってその場で味わえること。そのおいしさは格別です」。みんなでワイワイしながら食べると、さらにおいしさがプラスされるといふ。初心者の女性だけで始めたいちご園は来園者の笑顔を生み続ける。

おいしさを付け足す



たのふじ観光いちご園

田畑きみ子さん(岡之郷)

Profile

1938年富山県生まれ。2007年8月、農業経験ゼロからいちご園を開園。女性だけで始めたいちご園は今年で10周年を迎える。

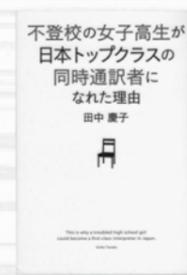
welcome to library

本との出会い

図書館司書がセレクトした新刊情報

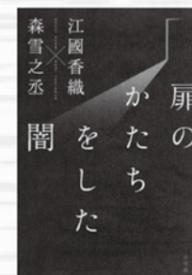
開館時間 午前9時～午後8時(土・日曜日、祝日は午後5時まで)
休館日 月曜日
問い合わせ 藤岡市立図書館 ☎21669

不登校の女子高生が日本トップクラスの同時通訳者になれた理由



著者▷田中慶子
「未来が見えないあなた」に贈る笑って泣ける感動の実話。

扉のかたちをした闇



著者▷江國香織・森雪之丞
二人の言葉が響きあって生まれた物語のような、音楽のような連弾詩集。

無葬社会



著者▷鶴飼秀徳
僧侶でジャーナリストの著者が変わりゆく葬儀と供養のかたちに迫る。